

# 石出構成員資料

# 製造業のあるべき姿

マーケティングオリエンテッドICTバリューチェーンシステムの構築

2015年 1月 16日  
名古屋研究所  
石出 孝

三菱重工業株式会社

# 日本の製造業がおかれている環境

## 現状の製造業の状況

### 製造業がGDPに占める割合

- ・日本 19.5%
- ・イギリス 11%

### 金融仲介業

- ・日本 6.4%
- ・欧米 13%

### 製造業の外貨獲得 (2012年)

- ・¥27兆 (90%以上が製造業)
- 農業 ¥0.35兆 観光収入 ¥1.3兆

### 日本の輸入 ¥29兆

- ・食糧 ¥5.8兆
- ・エネルギー ¥23兆

### 製造業の労働生産性

- ・US 100 とすると 日本 71
- (サービスはUS 100に対し, 42.2)

### 製造業の海外生産比率

- ・2010年 16%
- 2012年 20%強

### 外国人労働者/労働人口

- ・日本 1%
- US 16.3%
- イギリス 6.1%

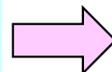
製造業が外貨を稼がねばエネルギー、食糧、鉱物資源を輸入できず、円満な国家運営ができない。

→ 製造業が外貨獲得の中心

今後日本市場の拡大は無い(人口減少)  
製造業生き残りには、グローバル展開のみ

## 日本の製造業が抱える課題

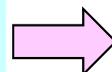
1. 事業全体の最適化不足 (たこつぼ化)
  - ・バリューチェーン全体での最適化不足



## マーケティングオリエンテッドバリューチェーンシステム

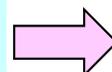
1. バリューチェーンシステム化による最適コントロール
  - ・利益企画によるバリューチェーン構築
  - ・ICT監視による最適化維持

2. 性能・機能至上主義 (技術者自己満足)
  - ・お客様の利益を無視した技術開発



2. 統合マーケティング・オリエンテッド製造戦略
  - ・マクロ・マイクロマーケティングの実践
  - ・お客様価値の把握, 競合他社戦略

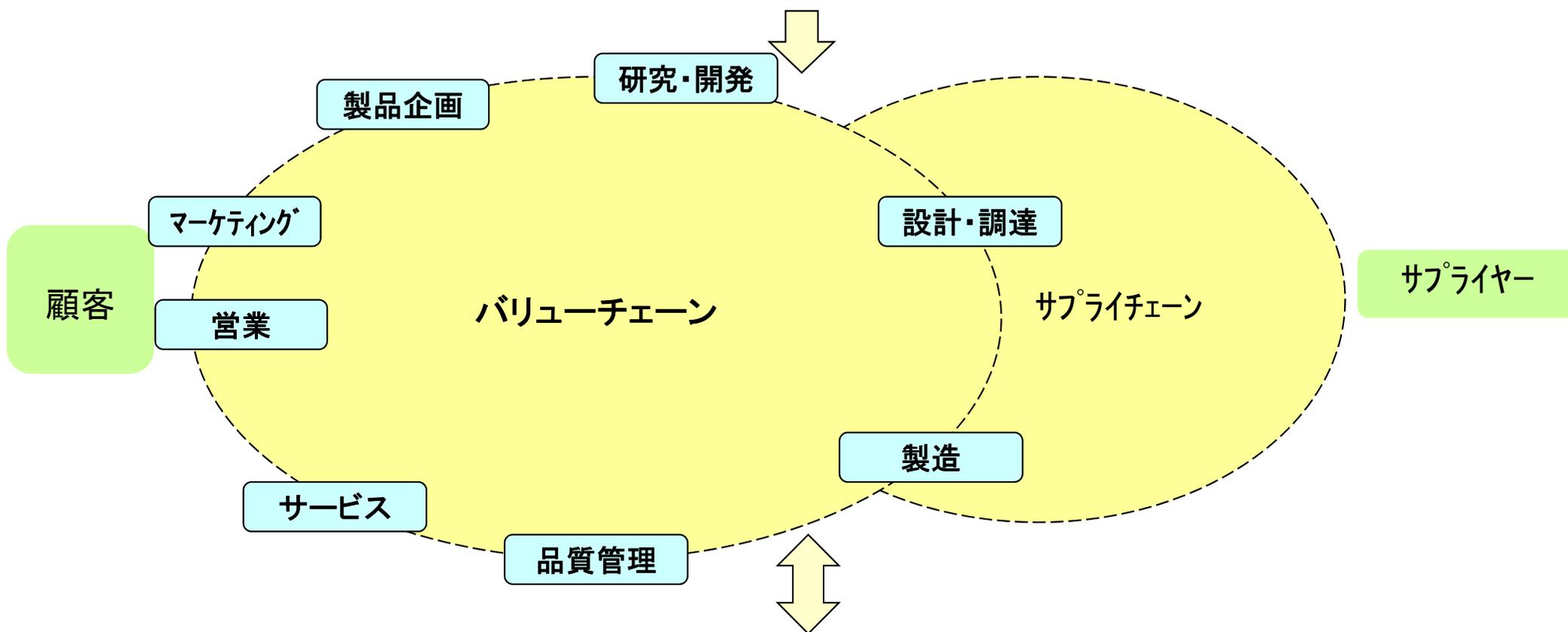
3. 匠依存の文化 (匠は悪くはないが)
  - ・暗黙知の形式知化不足
  - ・とことんシステム化, 残る部分は人



3. ITC利用システム化・人工知能化
  - ・経験の形式化と人工知能化
  - ・最終部分はすりあわせ

## 統合マーケティング

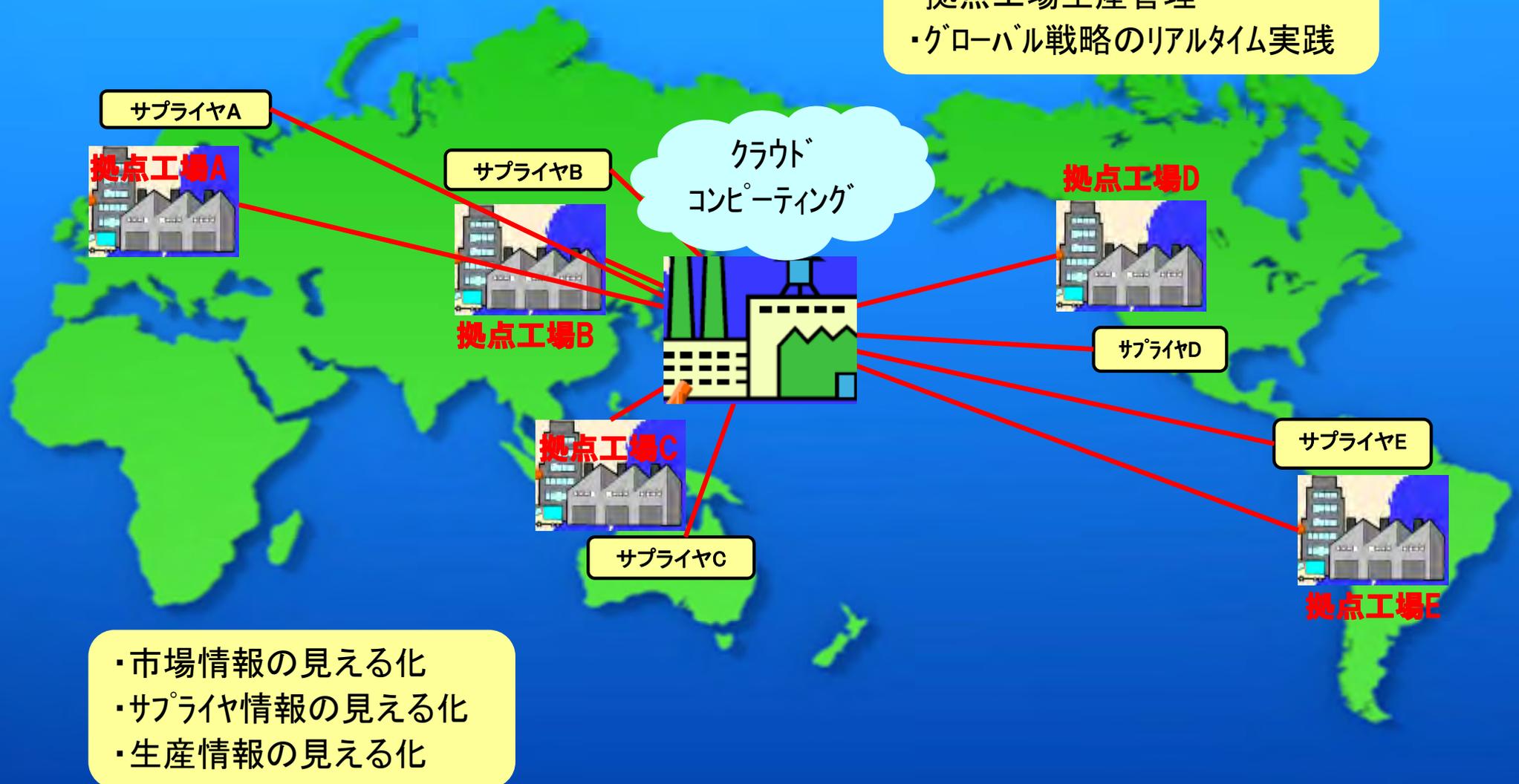
・マクロ・マイクロマーケティングによる顧客情報・コンペター情報のバリューチェーン全体での把握



## ICT利用バリューチェーン制御システムの構築

・暗黙知の知能化, バリューチェーン全体をひとつのシステムと考えそのインプロセス最適制御を実現

- ・拠点サプライヤコントロール
- ・拠点工場生産管理
- ・グローバル戦略のリアルタイム実践





この星に、たしかな未来を